

ビジネスパーソンのための実践データサイエンス

メインテーマ データサイエンスのリテラシー

【受講料】10,000円(税込) (研究協力会会員 5,000円)

【コースレベル】初心者向け

【開講日・開講時間】

2026年 11月25日(水) 9:00 ~ 17:00

【場所】射水キャンパス情報工学研究棟T-201

【申込締切】2026年11月10日(火)

受講者が準備するもの

PC(Excelが利用可能であるもの)

カリキュラム

	日時	テーマ	内容	キーワード	担当講師	場所
1	9:00 ~10:30	【導入】社会におけるデータ・AI活用1	講師紹介 社会でおきている変化、社会で活用されているデータ、データとAIの活用領域	ビッグデータ、AI	データサイエンス学科 榊原 一紀 教授 中村 正樹 教授 松本 卓也 准教授 高野 諒 講師 松山 裕典 助教	T201
2	10:40 ~12:10	【導入】社会におけるデータ・AI活用2	データ・AI活用のための技術、データ・AI活用の現場、データ・AI活用の最新動向	データ解析、可視化、自動化		
3	13:10 ~14:40	【基礎】データリテラシー	データを読む、データを説明する、データを扱う(Excel演習)	ばらつき、誤差、データ表現、解析ツール		
4	14:50 ~16:20	【心得】データ・AI活用における留意事項	データ・AIを扱う上での留意事項、データを守る上での留意事項	ELSI、DGPR、倫理、セキュリティとプライバシー		
5	16:20 ~17:00	振り返り	アンケート、意見交換			

受講対象者

- 数理・データサイエンス・AIの視点で、統計の利活用の基礎やAIの仕組みの理解やデータ運用にかかるセキュリティを学びたい方(文系理系を問わず)

カリキュラムの趣旨

社会で起きている変化を知り、数理・データサイエンス・AIを学ぶことの意義を理解します。どんなデータが集められ、どう活用されているかを知り、さまざまな領域でデータ・AIが活用されていることを学びます。データ・AIを活用するために使われている技術の概要を学び、データを適切に読み解き、学び力を養います。

Keyword キーワード

A	確率統計(平均、分散)
B	確率統計(相関、因果性)
C	表計算(Excelでのグラフ作成)
D	表計算(Excelでの関数使用)
E	セキュリティ(機密性、完全性、可用性)
F	プライバシー(個人情報、匿名化)

申込について



①富山県立大学ホームページの申込フォームから申込

【申込フォーム】<https://www.pu-toyama.ac.jp/various/jukomoshikomi/>

QRからアクセス▶



②メールによる申込

下記URLより、受講申込書をダウンロードし、必要事項を入力の上、メールに添付し送信ください。
メール件名は「社会人向けセミナー 2026 受講申込」として送信ください。

https://www.pu-toyama.ac.jp/regional_alliances/recurrent/career_advancement/

事前連絡事項

- 受講料は、受講決定後にお送りする振込依頼書により、最寄りの金融機関にて納付ください。振込手数料はご負担いただけますようお願いいたします。
- 原則提示したカリキュラムの日程、内容で実施しますが、都合により変更の可能性があります。変更がある場合は、事前にご連絡いたします。(緊急時を除く)
- 6割以上の講義を修了した場合、修了証を交付します。

- 受講料納付後に参加を取りやめた場合、受講料の返還はできません。ただし、大学側の都合でセミナーが開講できなかった場合は、未開講分を返金いたします。
- 受講者が本学の行う教育及び研究に支障をきたした時、学内の秩序を乱した時、その他受講者としてふさわしくない行動をした場合は、受講を停止することがあります。なお、受講停止の場合であっても、納付済みの受講料は返還いたしません。

【個人情報保護方針】

ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関するご連絡、運営及び関連情報のご案内のみに使用し、それ以外の目的には無断で使用しません。

富山県立大学 社会人向けセミナー 2026



県大発キャリアアップ支援講座

受講者募集



富山県立大学



■仕事に役立つ知識習得・スキルアップ・キャリアアップを支援！

■次の3つのコースから選択可能！

- 生物系コース
- 社会基盤工学コース
- ビジネスパーソンのための実践データサイエンス

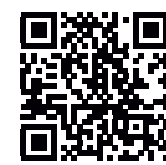
各コースの詳細
及び募集期間は
こちらから→



アクセス

射水キャンパス

- あいの風とやま鉄道小杉駅南口から徒歩約25分(約2km)
- 射水市コミュニティバス「7.新湊・小杉線」に乗車約6分
- 小杉I.Cから車で5分



▲QRを読み込むと
地図アプリが開きます

〒939-0398 富山県射水市黒河5180



公式HP・SNS

QRコードから
ホームページへ
アクセス！



富山県立大学 検索

SNSで本学の最新情報も発信しています。
ご覧ください。



お問合わせ先

公立大学法人富山県立大学 地域連携センター(富山県立大学 射水キャンパス内)

☎ 0766-56-0604

✉ shogaigakushu@pu-toyama.ac.jp

富山県立大学地域連携センター



生物系コース

メイン
テーマ

食品微生物学が拓く新たな価値
—私たちの健康を支える微生物の世界—

【受講料】 10,000 円(税込)
(研究協力会会員 5,000 円)

【コースレベル】 中級者向け

【開講日・開講時間】

11月9日(月) 9:30 ～ 16:30
(希望者 17:20 まで)

【場 所】 射水キャンパス合同棟L-205他

【申込締切】 2026年10月26日(月)

受講者が準備するもの
特になし

受講対象者

●食品微生物や腸内細菌叢は私たちの日々の健康に大きく寄与しています。このような基礎知識は、医薬品開発や食品開発に役立つものであります。どんな職種の方でもご興味のある方はどなたでもご参加いただけます。

カリキュラムの趣旨

近年、人類の健康維持に対する腸内細菌叢の重要性が注目されてきている。また、従来から発酵食品の摂取が腸内細菌叢の健全化に寄与することは知られているが、その重要性が改めて認識されてきている。そこで、本講座では、ヒトにおける食品と微生物の関係について、様々な視点から、最新の知見をもとに詳しく解説する。本講座は、複数名の講師により講義形式で実施する予定である。

Keyword キーワード	A	微生物学
	B	生理学
	C	腸内細菌
	D	乳酸菌
	E	プロバイオティクス
	F	発酵食品
	G	バイオイノフォマティクス
	H	疾患

■カリキュラム

	日 時	テーマ	内 容	キーワード	担 当 講 師	場 所
1	9:30 ～9:40	開催挨拶			生物工学科 生城 真一 教授	L205
2	9:40 ～10:40	人間と微生物の関わり	人間は腸内細菌などの微生物と共生し、消化や免疫に役立てている。一方で病原微生物は病気を引き起こすため、衛生管理が重要である。	共生、腸内細菌、病原微生物	生物工学科 生城 真一 教授	L205
3	10:45 ～11:45	乳酸菌と発酵乳の科学：ガセリ菌 SP 株を事例として	乳酸菌と発酵乳の基礎知識を概説するとともに、当社の研究事例を紹介する。	ガセリ菌 SP 株、乳酸菌、腸管定着性、内臓脂肪低減、腸内環境改善、プロバイオティクス、機能性ヨーグルト	雪印メグミルク株式会社 加田 茂樹 上席研究員	L205
4	13:10 ～14:10	伝統発酵食品と微生物	酒類、発酵調味料、漬物、なれずしなどの伝統発酵食品の製造において、乳酸菌、酵母、麹菌などの発酵微生物は重要な役割を担っている。本講義では、このような微生物群の働き方と、それによりもたらされる食品としての特徴について解説する。	発酵食品、乳酸菌、酵母、麹菌、有用微生物	石川県立大学 小柳 喬 教授	L205
5	14:15 ～15:15	数学でみる腸内環境	腸内細菌叢が関わる疾患に対して、数理・情報科学的手法を応用した分析手法を紹介する。	バイオイノフォマティクス、数理科学、腸内細菌叢	北海道大学大学院 先端生命科学研究院 中岡 慎治 教授	L205
6	15:20 ～16:20	様々な疾患に関与する腸内細菌叢	腸内細菌叢を遺伝子解析で同定する技術が急速に進歩し、腸内細菌が様々な疾患だけでなく、健康増進や寿命などに影響することが明らかになっている。本講義では、これまでに報告されている知見をもとに、腸内細菌叢と疾患との関係について解説する。	腸内細菌叢、代謝性疾患、炎症性疾患、がん・腫瘍免疫	生物工学科 鎌倉 昌樹 講師	L205
7	16:20 ～16:30	閉会挨拶			生物工学科 生城 真一 教授	L205
8	16:30 ～17:20	<希望者> 研究室見学と個別質問				L205 他



社会基盤工学コース

メイン
テーマ

コンクリート・鋼構造物の劣化診断と非破壊試験—劣化メカニズムの理解から各種診断技術の実践まで—

【受講料】 10,000 円(税込)
(研究協力会会員 5,000 円)

【コースレベル】 中級者向け

【開講日・開講時間】

2026年 11月24日(火) 9:00 ～ 17:30
(希望者 18:30 まで)

【場 所】 射水キャンパス中央棟 N-206他

【申込締切】 2026年11月10日(火)

受講者が準備するもの
関数電卓

受講対象者

- コンクリート・鋼構造物の点検・調査・診断に関する基礎知識を身につけたい方
- 実務で非破壊試験に携わっている技術者

カリキュラムの趣旨

コンクリート・鋼構造物を適切に維持管理するためには、劣化メカニズムを理解し、目的に応じた非破壊試験を選定するとともに、その結果を適切に評価することが重要です。本講習会では、代表的な劣化メカニズムとその事例を学ぶとともに、鉄筋探査、画像診断、PCグラウトの充填評価、あと施工アンカーの健全性評価、ボルトの締結度評価など、各種非破壊試験の実習を行います。講義と実習を通して、各試験方法の原理、適用範囲および評価上の留意点について理解を深め、コンクリート・鋼構造物の点検・調査・診断に必要な実践的知識を習得することを目指します。

Keyword キーワード	A	コンクリート
	B	劣化
	C	診断
	D	電磁波
	E	電磁誘導
	F	超音波
	G	機械インピーダンス

■カリキュラム

	日 時	テーマ	内 容	キーワード	担 当 講 師	場 所
1	9:00 ～9:15	開会挨拶、概要説明、参加者紹介			環境・社会基盤工学科 伊藤 始 教授	N206
2	9:15 ～10:15	【講義】コンクリート・鋼構造物の劣化メカニズムとその事例	中性化、塩害、アルカリシリカ反応など、コンクリートに生じる代表的な劣化のメカニズムとその事例について学ぶとともに、鋼構造物における代表的な損傷事例についても学びます。	劣化、中性化、塩害、アルカリシリカ反応、高力ボルトの遅れ破壊	環境・社会基盤工学科 内田 慎哉 准教授	N206
3	10:15 ～11:00	【講義】コンクリート中の鉄筋探査	電磁波と電磁誘導の基礎を学び、電磁波レーダ法および電磁誘導法による鉄筋探査の原理を理解します。	電磁波レーダ法、電磁誘導法	株式会社計測技術サービス 金澤 達雄 氏 前田 悠吾 氏	N206
4	11:05 ～11:50	【実習】コンクリート中の鉄筋探査	電磁波レーダ法および電磁誘導法の測定器を実際に操作し、鉄筋位置・かぶり・鉄筋径の推定を体験します。	電磁波レーダ法、電磁誘導法	株式会社計測技術サービス 金澤 達雄 氏 前田 悠吾 氏	N114
5	13:00 ～14:00	【実習】コンクリートの劣化診断のための試験と解析	鉄筋腐食やアルカリシリカ反応などが生じたコンクリート構造物の劣化診断や耐力評価につながる試験技術や解析技術の基礎を理解し、体験します。	劣化診断、劣化メカニズム、耐力評価	環境・社会基盤工学科 伊藤 始 教授	N114
6	14:05 ～15:05	【実習】PC グラウトの充填評価	PC、鋼材周囲に発生する磁場の変化からグラウト充填状況を評価する電磁場応答法の特徴を理解します。また、測定器を操作し、グラウト充填状況の評価を体験します。	電磁場応答法	株式会社東洋計測リサーチ 山下 健太郎 氏	N114
7	15:15 ～16:15	【実習】あと施工アンカーの健全性評価	超音波の基礎と測定原理を学び、超音波法の測定器を実際に操作し、あと施工アンカーの健全性の評価を体験します。	超音波法	株式会社ケー・エフ・シー 齊藤 透 氏	N114
8	16:20 ～17:20	【実習】ボルトの締結度評価	打撃試験の基礎を学び、打撃時の応答からボルトの締結度を評価する原理を理解します。また、加速度センサを内蔵したハンマを用いた測定器を実際に操作し、ボルトの締結度の評価を体験します。	打撃試験	株式会社アイベック 細野 恭成 氏	N114
9	17:25 ～17:30	閉会挨拶			環境・社会基盤工学科 内田 慎哉 准教授	N206
10	17:30 ～18:30	<希望者> グリーン×AI 教育研究拠点見学			環境・社会基盤工学科 内田 慎哉 准教授	T109